

# アルミ輸出は台以外が大幅に増加

## アルミ圧延品 二次合金地金は生産、出荷とも増

### ■橋本健一郎氏リポート②



橋本健一郎氏

■国際概況  
三月初半は、NYダウ終値史上最高値を更新し、新素材もあつたが、上海株が今年最安値を付

けたこと、全年代で発表された今年の中国GDPが六%とやや減速したことを懸念し、LMEアルミ相場はDOWN。三月十五日時点、一三九ドル(セツル)と月初価格から一五五ドルDOWNの前半締めとなった。

後半は、欧州で新型コロナウィルスの感染が再拡大し、世界経済の正常化が遅れると懸念などのマイナスマテリアルもあつたが、中国国家统计局発表の工業生産が前年同期を三五・一%上回る強気な内容だったことを好意し、LMEアルミ相場はUP。三月末日現在、後半スタート価格から三六ドルUPの二二〇・五ドル。

■月間のドル/円レート (TTS)  
一〇七・四九→一〇八・八六(円)

◆自動車生産台数

生産動態統計によると、二月の自動車生産台数は前年比九・一%減の六六万六、七五一台。輸出は一五・五%減。

◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると、三月の自動車販売台数(軽除く)は前年比二・四%増の三八万四、一一四台。

◆新設住宅着工件数

二月の新設住宅着工は、持家は増加したが、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比三・七%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比〇・八%の増加となった。

新設住宅着工戸数は六〇、七六四戸で前年同月比三三・七%減と、二〇カ月連続の減少。

新設住宅着工床面積は五、〇四五千㎡と前年同月比一九・九%減と、先月の増加から再びの減少。

季節調整済年率換算値では八〇八千戸で前月比〇・八%増と、二カ月連続の増加。

◆貿易関連指標

財務省貿易統計によれば、輸出はアルミ、新地金が前年比一六九・八%増の一七九七、

二次合金が二九・二%増の三、〇六六t、スクラップが一八・八%増の二万〇、二二六t、アルミ缶が六・二%減の九、六三〇t。

輸入は新地金が前年比五・一%減の二二万、〇三六t、二次合金が三六・六%増の九万、一六二〇t、スクラップが一八・八%減の四七、七五t、合金スクラップは三三・七%増の四、七八一t。

■前月の国内指標

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比〇・四%増の一四万四、六九四tと、二カ月連続プラス。  
「アルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績」によると、生産は前年比一・九%増の六万五、五六八tと四カ月連続プラス。出荷は〇・八%増の六万五、〇七四tと四カ月連続プラス。

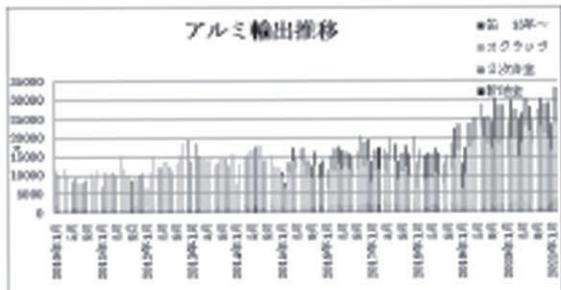
■国内概況まとめ

【自動車生産】  
生産動態統計によると、二月の自動車生産台数は前年比九・一%減の六六万六、七五一台。輸出は一五・五%減。

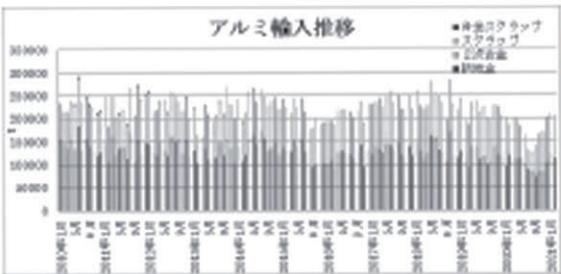
【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると、三月の自動車販売台数(軽除く)は前年比二・四%増の三八万四、一一四台。  
このうち、乗用車二・三%増、貨物四・八%増、バス二九・三%減。(六面へ続く)

アルミ輸出推移



アルミ輸入推移



【四圍より続く】

【住宅着工戸数】

二月の新設住宅着工は、持家は増加したが、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比二七％の減少となった。また、季節調整年率換算値では前月比〇・八％の増加となった。

【アルミ圧延・押出品生産数量】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比〇・四％増の一四万四、六九四と二カ月連続プラス。

このうち、板類は八万九、八七五とで一・三％増と一カ月連続プラス、押出類は五万四、八一九とで一・一％減と二七カ月連続マイナス。

【アルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績】

生産は前年比一・九％増の六万五、五六八と四カ月連続プラス、出荷は〇・八％増の六万五、〇七四と四カ月連続プラス。

【輸出】

アルミ新地金が前年比二六・九八％増の一七九、一四一と、二次合金が一九・二％増の三〇六、六六と、スクラップが一八・八％増の二万〇、二二六と、アルミ缶が六二・九％増の九六、三〇と。

【輸入】

アルミ新地金が前年比五・一％減の一・二万二、〇三六と、二次合金が三六・六％増の九万一、六二〇と、スクラップが一八・八％減の四七五と、合金スクラップが三三・七％増の四、七八と。

【自動車】

二月の自動車生産が九・一％減。三月国内販売台数が前年比一・四％増。

生産減は半導体不足によるものと認識、販売は堅調。今後生産減が販売台数に響くか注視。

・日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比〇・四％増の一四万四、六九四と二カ月連続プラス。

今後プラスが続くかの動向に注視。

・アルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績によると、生産は前年比一・九％増の六万五、五六八と四カ月連続プラス、出荷は〇・八％増の六万五、〇七四と四カ月連続プラス。

自動車生産の減少に伴って減少するか注視。

・アルミ輸出は、相場の急騰や外需が比較的好調なことを受けて缶以外が大増。過去一〇年で最大の輸出量。

・アルミ輸入は国内自動車販売の好調から合金

地金が大幅増

【スクラップ豊況予想】

流通在庫はLME価格が二二二〇〇ドルから二一、三〇〇ドルで高止まりしているが、半導体不足による自動車生産減に伴う発生減から少ない。

需要面に関しては、相場急騰に伴う高値警戒感からメーカー在庫は少ない。

【LME・為替予想】

今月は①米経済、景気対策と②欧米中関係の動向に左右される

①に関しては

バイデン大統領は三月三十一日、二兆ドル強のインフラ投資計画を発表。政府の権限を活用して米経済を再構築し、中国の影響を拡大に對抗することから米景気は更に上向くのでは。

②に関しては

欧州連合(EU)や米国が中国での少数民族ウイグル族の不当な扱いが人権侵害にあたるとして中国政府当局者らへの制裁を決めたこと、香港選挙制度の改正、台湾領空への中国機の侵入など更に悪化は進みそう。

これらを踏まえた四月のアルミ価格は二二、二〇〇〜二、四〇〇ドル(セツル)との予想。ドル円値は一〇九円〜一一〇円(TTM)台を予測。

スクラップ購買価格に関しては据え置きから〇〜五円高程度と予測している。

ドル・円(終値ベース)

